

いま 子どもとして 生きる

2018年11月10日 [土]

開催場所 武蔵野大学 武蔵野キャンパス

▶ 学科リカレント企画

10:00-11:30

現職保育者・保育者を目指す人たちのための
保育ワークショップ

- A 乳児の音楽（発達とリズム遊び）
 - B 幼児の音楽（リズムと身体の動き）
- 各定員 60名

10:00-11:40

映画上映会

「いのちのはじまり—子育てが未来をつくる」

▶ 学科開設記念シンポジウム

13:30-15:30

シンポジウム

「いまここ」と「未来」の両方を生きる子どもにとって必要な知性とはどのようなものだろうか。また、その知性を育てていくために私たちはどのように子どもと関わればよいのだろうか。遊びや環境などすでに当たり前にあるようなものの意味を改めて掘り起こしながら、子どもと子どもに関わる私たちについて考える。

■ シンポジスト

山名 淳

(東京大学大学院教育学研究科 教授)

宮里 暁美

(お茶の水女子大学 教授・文京区立お茶の水女子大学こども園 園長)

■ 司会

生井 亮司 (武蔵野大学)

いま、子どもとして生きる



学科リカレント企画 10:00-11:30

それぞれ定員60名 要事前申込

現職保育者・保育者を目指す人たちのための保育ワークショップ

A 乳児の音楽〈発達とリズム遊び〉

紅雲台 2F

子連れ参加可 (原則0歳から3歳)

リズム遊びやリトミックは、乳幼児にどのような意味があるのでしょうか。本ワークショップでは、リズム遊びやリトミックの発達の意義と実践を通じて、乳幼児が経験する世界から保育を考えます。



高牧 恵里 こども発達学科 講師

専門は、ピアノ演奏、音楽教育学。最近では、子どもに対して、リトミックを通じて、リズムがどのような影響を及ぼすか、共同研究に取り組んでいる。



今福 理博 こども発達学科 講師

専門は、発達科学・発達心理学。乳幼児が音やリズムをどのように感じているのかについて、脳とこころ、保育の視点から迫る。著書に『ベーシック発達心理学』(東京大学出版会、2018年)など。

B 幼児の音楽〈リズムと身体の動き〉

4号館 4103 教室

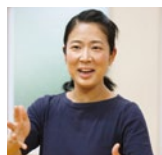
子連れ参加可 (原則4歳以上)

子どもの能力再発見!! 子ども達は日々の遊びや生活の中でリズムを感じとり、表現遊び、表現活動へと結びつけていきます。言葉や動きによる関わり合いからリズム遊びを考えます。



高橋 一行 こども発達学科 教授

ヨーロッパ・アフリカ・ブラジル・東南アジア・沖縄・オーストラリアをめぐる、様々な民俗音楽から音楽の根源を考え、幼児の音楽教育への手がかりを探っている。特に、幼児の音楽力を引き出す、遊びの方法について研究を進めている。



川上 暁子 こども発達学科 准教授

身体表現・体育・健康などの身体に関わる科目を担当する。のびのびと身体を動かすことや、身体で多様な動きを創ることに取り組む授業に定評がある。

映画上映会 10:00-11:40

8号館 8301 教室

申込不要



「いのちのはじまり — 子育てが未来をつくる」

世界の子育て最前線!

すべての子供に、素晴らしい人生のスタートを。それが平和で創造的な社会を築く一番の近道。そのための子育ての方法は1つじゃない。世界中の、いろんな環境下の、いろんな育児を見つめたドキュメンタリー。(HPより)
監督: エステラ・ヘネル 制作: マリア・ファリナ・フィルムズ 配給・宣伝: アップリンク 協力: 日本ユニセフ協会 2016年 / ブラジル / 96分 / カラー <http://www.uplink.co.jp/hajimari/>

保育ワークショップへの参加ご希望の場合は
WEBサイトからお申し込みください。

<http://ur2.link/Ls3>

または
QRコード ▶



シンポジウム 13:30-15:30 (開場13:00)

1号館1101教室

申込不要



山名 淳 東京大学大学院教育学研究科 教授・博士 (教育学)

広島大学大学院教育学研究科博士課程単位取得退学後、ベルリン・フンボルト大学への留学を経て、神戸市外国語大学、東京学芸大学、京都大学で教育学・教育哲学を担当。2017年10月より現職。主著に、『災害と震災の記憶を伝える — 教育学は何ができるか』[共編著] (勁草書房、2017年)、『都市とアーキテクチャの教育思想』[単著] (勁草書房、2015年)、『「もじゃペー」に〈しつけ〉を学ぶ』[単著] (勁草書房、2012年)、『夢幻のドイツ田園都市』[単著] (ミネルヴァ書房、2006年)、『ドイツ田園教育舎研究』[単著] (風間書房、2000年)。



宮里 暁美 お茶の水女子大学 教授・文京区立お茶の水女子大学こども園 園長

お茶の水女子大学家政学部児童学科卒業。国立幼稚園教諭、お茶の水女子大学附属幼稚園副園長を経て、十文字学園女子大学幼児教育学科教授として2年間保育者養成に携わる。平成28年4月より、お茶の水女子大学教育学部人間社会科学科教授・文京区立お茶の水女子大学こども園 (平成28年4月開設) 園長。子どもたちの小さな動きに目をとめて保育について思いめぐらしている。主な研究領域は保育学全般 幼小接続 子育て支援論。主な著書は『子どもたちの四季〜小さな子をもつあなたへ伝えたい大切なこと』(主婦の友社)、『0-5歳児 子どもの「やりたい!」が発揮される保育環境』(Gakken 保育 Books) 監修、『子どもからはじまる保育の世界』(北陽出版) 共著、『保育がグングンおもしろくなる 記録・要録 書き方ガイド』(ひろばックス メイト) 編著

シンポジウム司会 | 生井 亮司 武蔵野大学教育学部こども発達学科 准教授・博士 (美術)



東京藝術大学大学院美術研究科博士後期課程修了 博士 (美術)。東京藝術大学美術教育研究室助手、鎌倉女子大学非常勤講師等を経て現職。専門は美術 (造形) 教育哲学、彫刻制作。近年は現代思想を援用しながら美術教育の哲学的意義についての研究を行っている。また社会実装としての哲学対話 (哲学カフェ) なども開催している。主に国展、個展を中心に制作発表を行う。主著は『美術と教育のあいだ』(東京藝術大学出版会、2011年)。

※本イベントに託児は行いません
(全てのイベントで子連れ参加可: オムツ交換・着替えの場所あり)

【問合せ先】

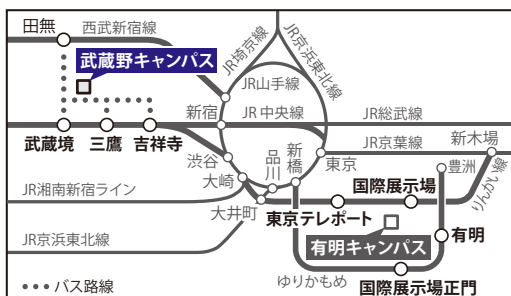
武蔵野大学教育学部こども発達学科学科長 義永 睦子
e-mail: mutsu-y@musashino-u.ac.jp
〒202-8585 東京都西東京市新町1丁目1番20号

懇親会 16:00-18:00

5号館2階

申込不要

JR(中央線・総武線)・地下鉄東西線・京王井の頭線		
武蔵境駅 北口バス③ 三鷹駅行、武蔵野営業所行バス約7分 「武蔵野大学」下車	三鷹駅 北口バス③ 武蔵野大学行、武蔵境駅行、武蔵小金井駅行、ヴィーガーデン西東京行バス約10分「武蔵野大学」下車	吉祥寺駅 北口バス① 向台町5丁目行、桜堤団地行バス約15分 「武蔵野大学」下車
西武新宿線		西武池袋線
田無駅 北口バス⑤ 武蔵境駅行バス約5分 「至誠学舎東京前」下車、徒歩5分		ひばりヶ丘駅 南口バス① 武蔵境駅行バス約20分 「至誠学舎東京前」下車、徒歩5分



※上記のうち、直行バスも運行されている三鷹駅での下車が便利です。
※お車でのご来場はお断りしております。